北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	日本語会話Ⅰ	科目コード	1320	単位数	2
担当者名	複数担当教員（ＩＡＹ日）	開講セメスター	第1セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標		実務経験	無
ナンバリング		※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

「国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力を身につける」という本学の学位授与方針に立脚し、留学生という立場から自国および日本社会の価値観の相違について理解する。また「少人数教育とバイリンガル教育の充実」というカリキュラム方針に従い、日本語の文法や語彙、慣用表現、また場面に応じた口頭表現を習得する。

到達目標

①場面に応じた話し方ができるようになる。
②状況説明や考え・感情の伝達を正確に行えるようになる。
③日本人的な意見の伝え方や聴き方を学ぶ事で、コミュニケーション能力を高める。

授業内容

1週目 プレースメントテスト、前期ガイダンス
2週目 1課. クラスで自己紹介をする 〈自己アピール〉
3週目 6課. パーティーで初対面の人と話す 〈話題の共有〉
4週目 4課. 先生の誘いを断る 〈断る〉
5週目 8課. 医者に症状を説明する 〈症状説明〉
6週目 9課. 財布をなくして説明する 〈形状・状況説明〉
7週目 5課. 友達を慰める・励ます 〈慰め・励まし〉
8週目 12課. 日にち変更の許可を求める 〈許可求め〉
9週目 13課. 日常生活でいろいろなことを頼む 〈依頼〉
10週目 17課. ごみの出し方を注意されて謝る 〈謝る〉
11週目 16課. 注文の間違いを言う 〈苦情を言う〉
12週目 20課. 面接の練習をする 〈質問に答える〉
13週目 19課. 合宿場所の相談をする 〈提案・相談〉
14週目 22課. 友達と意見を出し合う 〈意見を言う・反論する〉
15週目 前期会話試験、文法機能の復習
16週目 やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

①次週の授業のための準備として、テキスト等で予習する。〔30分〕
②各授業の重要項目（語彙・文法等）を、テキスト等で復習する。〔30分〕

成績評価の方法・基準

授業ごとの発表：35%、授業への参加度：35%、学期末の会話試験：30%で成績をつける。

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行うこと。
他学生の学習の妨げになるような行為はしないこと。
指示された時以外のスマートフォンの使用は禁止。
授業の進度により、内容を変更する場合がある。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の発表内容を添削し、フィードバックを行なう。

テキスト

中居順子、 近藤扶実他著『会話に挑戦！ 中級前期からの日本語ロールプレイ』（スリーエーネットワーク） 定価2,640円（本体2.400円＋税）を購入のこと。

参考書

必要に応じて紹介する。

更新日付

2026/06/18 05:59